

1 2回日本介護学会開催県 山口県②

一般社団法人 山口県介護福祉士会

おいでませ！山口へ ー観光地編ー

第12回日本介護学会が行われる山口市は、県庁所在地で県行政の中心地です。会場の一つとなるホテルかめ福は、山陽路随一の湯量を誇る名湯として知られる湯田温泉街の中心にあります。この温泉は、傷ついた白狐が足をひたして、その傷をいやしたとの言い伝えがあります。また、山口市には、日本三名塔の一つ「国宝 瑠璃光寺 五重塔」や、国指定史跡常栄寺雪舟庭などがあり、「西の京 山口」の名の通り、多くの歴史建造物に触れることができます。

山口市から山陰の方へ足を伸ばすと、毛利氏の城下町として栄えた萩の城下町に辿り着きます。萩は吉田松陰をはじめ、明治維新の原動力となった志士を輩出した地としても有名です。その道の途中には、3億年の歴史を持った日本最大のカルスト台地、秋吉台、その地下には30万年をかけてできた鍾乳洞、秋芳洞があります。その大部分が国定公園に指定され、その一部は特別天然記念物に指定されています。

このように、山口県は、自然と建造物そしてその融合が美しい景色の多い県です。その特徴的なものが、3つの橋です。北長門海岸国定公園として指定された山口県北部の海岸線にある角島の海に架かる角島大橋、岩国市の清流錦川に架かる日本三名橋の錦帯橋。そして、下関市の本州と九州を結ぶ吊り橋・関門橋。関門橋が架かる関門海峡は、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘で有名な巖流島があり、平家滅亡の壇ノ浦の戦いも行われた場所です。

また、金子みすず、中原中也、宇野千代など文化人や伊藤博文、山縣有朋、佐藤栄作など歴代内閣総理大臣の記念館や生家もあります。幕末に活躍した吉田松陰や高杉晋作、大村益次郎等などの志士たちの記念館や銅像も人気です。

歴史と文化、自然が皆様の“学びたい”という気持ちを高めてくれること間違いなしです。そして何より素朴で軸のぶれない県民性で、日本全国からお越しくださった皆様を心からおもてなししたいと思います。是非、おいでませ山口へ。

今回は、山口県の名産や美味しい食についてお知らせしたいと思います！